

1 『溺愛彼氏のおまんこ取り調べ〜中出し家宅捜索〜』

2 3 ■キャラクター詳細

4 ●主人公

5 天城 柎充(あまぎ まさみつ)

6 年齢:22歳 身長:185センチ

7 職業は警察官。最近やっと刑事になれた。

8 元柔道部で全国大会出場するレベルでマッチョ。

9 ヒロインのことが好きでたまらなく、エッチなこともたくさんしたいと思っている。

10 そして実はヒロインの匂いを嗅いだり、感じている時の身体を舐めるのが好き。

11 だが、普段はヒロインに嫌われないように、控えめに嗅いだり舐めたりしてた

12 最近色々と限界で溜まっているが、真面目に誠実にと、ヒロインという時には必死に耐えてい
13 る。

14 高校時代、先輩だったヒロインのことがずっと好きで、卒業時にやっと告白してOKをもらえ
15 た。

16

17 ●ヒロイン

18 年齢:23歳

19 身長:155センチ

20 一人暮らししながら会社に通う普通の社会人

21 たまのデートも短時間な事が多く、いちゃいちゃが足りないと感じている。

22 仕事柄、忙しいのは分かるが、本当はもっと柎充と色んなことがしたいと思っている。

23

24 ■あらずじ

25 警察官である彼は、やっと刑事課に配属ということもあって超多忙。

26 やうになかなかお互いの休みの予定が合わず、モヤモヤした日々を送るヒロイン。

27 ある日、やっと二人でゆっくり出来そうな日が作れた。

28 ヒロインの部屋で待ち合わせをして、この日のために準備した少し露出の多い服で

29 佯充を誘惑しているところ……そこへ急な呼び出しの電話が鳴ってしまっ。

30 戻ってきた彼は一生懸命謝ると、汗だくなので申し訳ないから、とシャワーを貸して欲しいと
31 言う。

32 急いでシャワーを浴びて出てきた彼は上半身裸で、これから食事に行っても行けっと言っが……。

33

34

35 ■トフックー

36 ○収録用区切り①

37 ※「デート当日、合流した二人は、プチおうちデート。そこへ榎充の電話が鳴る

38 ヒロイン宅。玄関のチャイムが鳴り足早に玄関へ向かうヒロイン。

39 扉を開けると榎充が立っている。

40 DMM:⑥→①

41 榎充「おはよ。待った? ……って言ったら待ち合わせっぽくない?」

42 君の家の玄関前だけど」

43

44 ※SE: 衣擦れ ヒロインが榎充の腕を引っ張る音

45

46 榎充「わわッ、え? まだ出発しない? 入ってって……ん、いいけど……おじゃましてーす。

47 君の部屋来るの、久しぶりな気がする」

48

49 ※SE: 室内に入る二人分の足音

50 ヒロイン「そうだね、確かに久しぶりかも」

51 榎充「俺の私服も久しぶりって? そういえば刑事課勤務になってからゆっくり会ったの、

52 本当に久しぶりだもんね。俺としてはもっといっぱい君とデートしたいんだけど……

53 (小声)もちろん、それ以上のことも……

54 っつん、何でもないよ。ずっと憧れてたあの先輩と

55 もう4年も付き合ってるんだな〜ってしみじみしてただけ」

56 ヒロイン「なに、急に……」

57 榎充「急じゃないよ、いつも思ってる……ってなんか照れるね。も、もう出発するっ。」

58

59 トロイン「もうちょっと待って欲しいんだけど……良い？」

60

61 榎充「えっ、うん、別に急いで出なきゃいけない訳じゃないから俺は良いよ。」

62 でも、いつもなら早く出発しちゃうって言うのに、珍しいね」

63

64 トロイン「服、ゆっくり見て欲しいっ。可愛いでしょ。」

65

66 DHM:①

67 榎充「今日の服？……うん！……とっても可愛いよ……。」

68 いつもと少し雰囲気も違うのもいいね。大人っぽいついていうのかな。

69 んっ……でも露出が多いのが俺的にはちょっと心配かも……「どこか？」

70 (榎充、優しく肩に触れる)

71

72 榎充「ほら、ちょっと触っただけなのに、身体ビクンっしてたよっ。」

73 ……人ごみ歩いてて、知らない人に触れられても、そんな反応しちゃっ？

74 よし、今日は外でも、ちゃんとくっついて歩いてもらうっ」

75

76 トロイン「じゃっ。」

77 ヒロイン、肩を榎充にぴたっと寄せくっつける

78

79 DHM:③→②

80 榎充「ううん、そうそう。そうやって俺の腕に、ちゃんとくっついて……

81 でも」の距離で君の顔みてるよ………チヨッ……

82 ぐすぐす、すくすくしたくなって大変かも」

83

84 トロイン 「うんね」

85

86 榎充「いいよって……あのね、さすがに人前じゃできないでしょっ。

87 そんな」言ってるよ、今日のおでかけを中止して………ちゅん」

88

89 DHM:③寄り

90 榎充「一田中」君を閉じ込めて、身体中を「取り調べ」する」にしようっ。

91

92 トロイン 「それもいいかもね」

93

94 DHM:③

95 榎充「……意味、分かって言ってるっ。」

96

97 トロイン 「もちろん」

98

99 DHM:①ちゅ

100 榎充「今……もちろん」って言ったっ。もう取り消せないうっ。」

101 DHM:①
102 榎充「……はあゝ、ごめんな。いくら彼氏とはいえないこんなでかい男に壁ドンされたら、
103 ちよつと怖いよね。でもね、君も悪いんだよ……」
104
105 榎充の携帯に着信が入る
106
107 榎充「ッ！……」のタイミングでこの着信音……ごめん、ちよつと電話出るね」
108
109 DHM:②
110 榎充「は、はい……もしもし、天城です。あゝ……はい、はい……分かりました……
111 ……戻ります……ええ、はい……はい、失礼します」
112
113 DHM:③↓①
114 榎充「はあゝゝ（大きなため息）ごめん……緊急の会議が入ったって呼び出した……
115 行かなきゃいけない……
116 ホントごめんな。埋め合わせするから、っていうか終わったらすぐ戻ってくるから！
117 絶対！なー」
118
119

120 ■トラック2

121 ○収録用区切り②

122 ヒロインが自室で待っていると、柗充がやって来る

123 ヒロイン宅、チャイムが鳴りかけよるヒロイン。扉を開ける

124

125 D H M : ⑥

126 柗充「(走ってきて来たので息切れしている)はあ、はあ……! はあ、はあ……

127 はあ(安堵のため息)よかった……出てきてくれて。今日……ごめんな。

128 もう怒って会ってくれないかと思って、急いで来たんだけど……

129 っと、走ってきたから汗だけで……先にシャワー借りて良いかな?

130 ……へへ、ありがとう。すぐ出てくるから、ちよつと待ってね」

131

132 シャワーを終えた柗充が部屋へ来る

133 D H M : ⑬ → ⑧

134 柗充「ふう、お待ちせ。本当にごめんね……せつかく、久しぶりに休みが合ったから、

135 色々連れていってあげたかったんだけど……もうこんな時間だし……

136 って、まだ汗引かないから、シャツ着たくなくて…

137 そんなにジツと見られたら緊張するよ?」

138

139 ヒロイン 「み、見てないしー」

140

141 柗充「……くすくす、本当? 俺の裸、ジツと見てたように見えただけど?」

142 ヒロイン 「本当だつてばー！」
143
144 榎充「じゅめん。そんなに怒らなくても……あ、ねえ扇風機、付けて良い？」
145
146 扇風機で涼む
147 DHM:⑯
148 榎充「はぁー、涼しい……あ、そうそう、着替えたらご飯でも食べに行こう？」
149 今日は悪いことしちゃったし、君が前に行きたいって言うてた
150 デザートが美味しいって有名なところ、連れてってあげるよ。
151 もちろんデザート付きで！ ふー……よし(扇風機を切る)」
152
153 ヒロインが榎充のそばにやや強くお茶を置く
154
155 DHM:⑰
156 榎充「あ、お茶、淹れてきてくれたんだ。ありがと……」
157
158 ヒロイン 「……」
159
160 DHM:⑱
161 榎充「どしたの？今日のじゅ怒って……え？ ちよ、待つ……」
162 わわっ、腕、引っ張ったら危な……ッ」
163

164 ヒロインが柢充をベッドへ押し倒す

165 DHM:①寄

166 柢充「うわぁッ?！ え、な、何して……なんで俺、ベッドに押し倒されて……」

167 （キス数回↓ディープキス10秒）……ね、どうしたの? 急に……」

168

169 DHM:③

170 柢充「(耳を舐められる)あ、ひぁッ、ちょ、待って待って……」

171 ……ん、ふぁ、耳、ダメ、だって知ってる、よねっ。

172 ……ん、っはぁ、んッ、あ、耳、マジ、で……ゾクゾクして……やば……ッ

173 ほんとにっ……どうしたの…はぁっ…」

174 (端々 10秒)

175 ヒロイン、柢充の胸を愛撫し始める

176 DHM:① 中

177 柢充「あぁッ、ひ、んッ……ちょ、な、ん、で……っはぁ……俺の乳首、舐めて……」

178 っはぁ、ん、ホント、ダメだつて……あ、指で、摘まむの、も……ダメ……

179 ……っはぁ……っはぁ、はぁ……あ、あぁッ、ん……」

180

181 ヒロイン「へすへす、もう怒ってないわ」

182

183 柢充「(愛撫されながら)え、もう怒ってないっ?」

184 ……っはぁ、はぁ……っはぁ、んッ、確かに、

185 っはぁ、楽しんでるに笑ってる、けど……っはぁ、はぁ……

186 柎充「(愛撫されながら)……じゃ、なんで、急に……んッ、こんな……え？」
187 うっん、いやなワケじゃ………ないよ……
188 ひぁッ、もう、乳首、引ッ張っちゃ……ダメ、だッ、て……
189 つはぁ、ん……あ、あぁッ、つはぁ、はぁ……君の指、つはぁ、はぁ……
190 すっくエッチに動いて……つはぁ、はぁ……俺の乳首、弄るの、
191 つはぁ、んッ、楽しい？ ……つはぁ、はぁ……そ、つか………」
192
193 D.H.M.:①
194 柎充「つはぁ、はぁ……(ディープキス10秒)つはぁ、はぁ……(キス5秒)
195 (ディープキスしながら)……こんなエッチなキス……いつもなら恥ずかしがるのに……
196 君からいつぱいしてぐれて、つはぁ、はぁ……嬉しいんだけど、でも……なん、で……
197 ……俺、いつも……」
198
199 トロインが柎充の下半身をまわす
200
201 柎充「うぁ、待ッ、チンコ、今、触られたら………ん、つはぁ……あッ……
202 ん、そっや、そっだよ。君に……ん、あんなにッ、いつぱいわれたら、
203 つはぁ……反応して当然、だろっ。下着越しでも分かるわっ……
204 ……んッ、ねぇ、ホント、っッ、んんッ、今日……いつもと違う……けど……」
205
206 トロイン下着越しに柎充のモノをゆっくっ手コキする
207

208 DHM:① 上

209 榎充「ひうッ、待つ、ホント、に……駄目だつて……ッはあ、

210 そんなに擦つたら……ッはあ、く、んッ、はあ、はあ……あ、あッ、ん……だ、め………!

211 あ、ああッ、ちよ、マズい……ッ……」

212 ヒロインの動きを制つ

213 DHM:①

214 榎充「……ッはあ、はあ………ッーく分かった」

215

216 ヒロイン 「えへ」

217

218 榎充「え、じゃなッよ。今日は悪いッッッちやつたッ、

219 お詫びにッ飯でもって思つてたから、頑張つて我慢してたけど……もう……」

220

221 榎充、ヒロインと体の位置を強引に入れかえ押し倒す

222

223 DHM:① 寄ッ

224 榎充「やめる………ほら、ッこれで形勢逆転……(ディープキス10秒)

225 ……君があんなッッするから……(ディープキス5秒)

226 悪いんだからねッ。男を煽つたらッッなるか、知らないみたいだけど……

227 本当に知らなッのか、それッもわッッなのか……」

228

229 ヒロイン 「わッッなッなッ……」

230 榎充「わざとじゃない？ 本当かなあ？ これは、じーっくり、君の身体を
231 取り調べてみないとな？」(意地悪く)
232 トロイ、 「やッ」
233 榎充「ディープキス3秒)嫌って言っても、今日はもう、逃がしてあげない……
234 それに君も……」
235
236 DHE:③ 寄ッ
237 榎充「(耳元で囁く)もう、すぐエッチな顔してる。期待してるんでしょ。」
238
239

240 ○収録用区切り③

241 ヲロインが身よじり、逃れようとする

242 DIZ:③

243 柗亮「くすくす……可愛い……(耳舐めしながら台詞)

244 ちんちの、お返し……ん、この真ッ赤になった可愛い耳を……俺の、舌で……

245 っーっぱい、可愛がつてあげるよ……耳たぶ、柔らか……

246 (耳舐めストップ)くすくす、ちゅッ、つてするたびに、肩がピクつてしてる……

247 くすくすたい、とは違つちね。その反応」

248

249 ヲロイン再び、逃げようとする

250

251 柗亮「ん、逃げちゃ、だあ、め。(耳舐めしながら台詞)こんな所、舐められて感じてるの、

252 恥ずかしい？ でも、ホントどう？ だつてこんな………ああ、そつだ……」

253

254 DIZ:③ 寄

255 柗亮「知ってる。っーっやつて反対の耳を指で塞いで……っつちを舐めたら……

256 (耳舐めしながら台詞)ほら、身体中、舐められてるみたいに感じるぞちゅ。

257 ああ、くすくす……もう顔、くっつく……可愛い……

258 (キス5秒)ちゅッ……そんな顔、されたら……」

259

260 DIZ:③ → ①

261 柗亮「(全体的に息が荒い・変態っぽく)はあ、はあ……もう、君のおっぱい、触りたい……

262 腕、っはあ、はあ……上げてっ、ん、良い子………」

263 DHM:㊟
264 柗亮「ああ……押し上げた服が、君のおっぱいを、
265 強調してて、すごいエッチだ……それに、こっやって服で固定していると、腕、動かせないね……
266 ぐすぐす……エッチ。身動き取れなくなってるのに……そんな顔して……
267 すごい物欲こそび……うやうや……可愛い……でも、そんな顔しても、
268 まだ舐めてあげないよう。俺の乳首もいっぱい弄ってくれたっ……
269 今度は俺が君の、可愛い乳首をいっぱい弄ってあげる番。
270 ほら、こっ……指先でっただけで、
271 (乳首を愛撫しながら)
272 君から可愛い声、出す……ねえ見える。指先でコロコロとねじって……
273 ぐんぐん大きく、固くなってるの……うやうや……可愛い……
274 ぐんぐんと反対の乳首も触って……ふう〜(息を吹きかける)
275 ぐすぐす、うそ。(いたずらっぽく)こっちの乳首はまだ触ってあげない……
276 ふん、君の可愛いピンクの乳輪のとこだけ、すりすりって撫でてあげる……
277 ぐん、まだ触ってないのに、こっちもぐんぐんしてきた……
278 早くしてっ……おねだりしてるみたいだけど……ふうう〜(息を吹きかける)
279 ぐすぐす、君の身体までピクってっ、ああ、可愛いなあ……待ちきれないっ。
280 ……いいよ、両方とも、乳首、ぎゅって、弄ってあげる」
281
282 コロ〜ん「ひゃっ」
283
284 柗亮「あ、っはあ……はあ、すごい……乳首で感じてる声、可愛い……
285 乳首舐めたら、もっと聞けるかな……(乳首舐め10秒)」

286 柗亮「はぁッ、はぁ、はぁ……あぁ、すく感じてるみたいで嬉しいな……
287 (乳首舐めながら台詞＋吐息)乳首、弄られて、舐められて……っはぁ、はぁ……
288 吸われて……くすくす、気付いてる？ 腰、揺れてるの……あぁ、もう、たまんないなぁ……
289 なえ、」のまままう少し、服、上」……」
290 トロインの服(上着)を脱がせ
291 DHM:① 寄ッ
292 柗亮「っ……せつかく、上、脱いだんだし……隠さないで全部見せてよっ。
293 くすくす、意地悪？ でも最初に意地悪したのは君だし……ちゅッ、
294 それに君だって、いつもより興奮してない？」
295
296 トロイン「興奮してるよ……嫌だった？」
297
298 柗亮「んんッ(照れた咳払い)、してるもって……」ゴッ……ん、ううん、可愛い……
299 それに嫌なわけ、ない……ちゅッ、どんな君も大好きだし……
300 それに今日は俺だって、いつもより、興奮、してる……(ディープキス5秒)」
301
302 DHM:①
303 柗亮「はぁ……はぁ……いつもはちゃんと我慢してるんだよ？
304 ……君が誠実な男の人が好きだって言うから、がっつかないようにつて。
305 たまに会えた時に、エッチばっかりだと、身体目的だって心配しちゃうって思つて……
306 本当はもっと君に触れたかったし、(ディープキス5秒)
307 エッチなキスも、いっぱい、したかった……けど……」
308

309 榎充「いつもは、ちゃんと、我慢、してたんだ……」
310 それなのに……こんな俺の……君に嫌われそうで心配だ……
311 (だんだんと我に返って最後は少ししょぼりした声)
312 トロイン 「我慢しないで?」
313 DHM:① 寄り
314 榎充「……………今、なんて言ったか、もう一回、言える?」
315 『我慢しないで』って聞こえたんだけど……俺の聞き間違いじゃないよね?
316 取り調べ中の発言の訂正は、その場で、が鉄則だよ?
317 もし間違いじゃないなら……こんな状態の俺に
318 「我慢しないで」は……その……(少し動揺した様子)
319 せっかく我慢しようって頑張ってたのに……いいの?」
320 トロイン 「煽ってるんだも?」
321 DHM:⑧
322 榎充「ッ! 煽ってる、って……はあゝ(ため息)そっか、じゃあこれは……」
323 君が仕掛けた「ふっふふ」で……」
324
325 DHM:① 寄り
326 榎充「(ディープキスしながら)もう、……知らない、からね……」
327 ん……っはあ、責任はとってもらうから……こんなにエッチに誘われたら、
328 男として応えない訳にはいかない……(ディープキス終了)」
329
330 榎充「(真剣に)誠実にとって頑張ってた、俺をこんなにしたのは……」
331 他でもない、君だから……覚悟して……」

332 ■トラック3
333 収録区切り④
334 DHM①
335 榎充「(ディープキス10秒)
336 ん……ッ、スカート、邪魔……っはあ、はあ……」ぐめん、先に謝つとくよ。
337 も、止まんないから。早く君を全部脱がせて、身体中、隅から隅まで……
338 取り調べ、したい………」
339 ※SE: 衣擦れ(少し乱暴に)ヒロインのスカートを脱がせる音
340
341 DHM:①
342 榎充「スカート、脱げ、た………んんッ?」
343 「じれッ、」の、下着……横のこッ、紐……」
344
345 DHM:②
346 榎充「待つて待つて、俺、さっき恰好良く「覚悟して」なんて言ったのに……
347 ちょっぴ、……絶対顔、赤くなってる……もっっ」
348
349 DHM:①
350 榎充「(キス5秒)はあ(小さくため息)……ちよつと想像以上の破壊力だった……
351 ……ねえ、」の下着、朝からずつと着けてたの?」
352 「」の細い紐、引っ張っちゃっただけ………君の「」が露わになつてしまへ、
353 「」んなにエッチな下着、着けて外を歩「」つと「」していたの?」
354 ヒロイン「だつて……」

355 榎充「だって、じゃないよ……いい？ 君のおまんこは……敏感なんだよ？」

356

357 ※SE: 衣擦れ 榎充が下着越しにクリトリスを撫でる音 ↓ 水音が混ざり始める

358

359 榎充「ほら、少し撫でただけで下着の上からでも分かるくらい、

360 もうクリトリスがぷっくり膨らんで……

361 とつてもエッチで、俺の指が大好きなんだ……あれ？ もう濡れてる……ほら聞こえる？」

362 くちゅくちゅって、いやらしい音がしてるの。ちゅちゅいっぱい乳首弄られて、

363 感じちゃったもんね……ただでやえエッチな下着にどんどん染みが広がって……

364 ああ、もう足も震えてるし、声も我慢できないね……君は本当に素直で可愛い……

365 大好きだよ」

366 (クリトリス攻め吐息 10秒)

367

368 DHM:① 寄り

369 榎充「(ティープキス10秒)」のまま、

370 めるめるの下着越しに、クリトリスばかり弄り続けて……

371 (乳首を弄りながら)「っ、やって……一緒に乳首も弄られたら……

372 (キス5秒)ん、イキそうになってる……ああほら、こっち見て？ クリトリスも乳首も、

373 っのままめちゃくちゃに弄ってあげるから、イキそうな顔、見せて？」

374

375 ヽロイン「い……うやっ……」

376

377 D H M : ①

378 榎充「(荒い息遣いで)だーめ、今日は君の恥ずかしいところ、ゼーんが見てあげるんだ……

379 あばれないで……(ディープキス10秒)

380 ……ああ、いいよ……そう、そのまま……イって……?」

381 (クリトリス攻め吐息 10秒)

382

383 榎充「(ディープキスしながら+吐息)やば……ッ、たまん、ない……

384 イキそうになって、息が荒くなってる、けど……ん……ッ、はあ……

385 声、我慢しないで……そ、うっぱい感じてくれているの、分かって嬉しい……

386 ああッ、俺の指で、感じまわっているの……可愛い、可愛いよ……

387 ん、ほら、俺に掴まっていい、から……ッ

388 気持ちいい? 気持ちイイ、ねえ? っはあ、はあ……(少し気持ち悪く)

389 もう、イキそう? だよねえ? 分かるよ?

390 腰、俺に擦りつけて、震えているし……っはあ、はあ……

391 俺の指でクリトリスも乳首も、めちゃくちゃに弄られて……

392 イッチャいそうに、なっているの、たまんない……

393 このまま、イッて? イク時の声、聞きたい……ッー」

394 (クリトリス攻め吐息 10秒)

395

396 ヒロイン、達する。潮吹き

397

398

399 D H M : ① 寄り

400 榎充「ちゃんとイケたね。」

401 潮まで出しちゃって…ん……大丈夫、淫らな君も……大好きだよ……」

402

403 トロイン「はぁ……はぁ…」

404

405 榎充「（ディープキス5秒）っはぁ、はぁ………可愛い……本当に……

406 でも、これで終わりじゃないの、分かってるよねっ。」

407

408

409 ■収録用区切り⑤

410 ※ 疋充の暴露、ヒロインが達するまでクニで責め続ける

411 DHM:① だんだんと下へ

412 疋充「(身体中にキスを落したり舐めたりながら、下半身へ移動+吐息)

413 イッたばかりで身体が敏感になってるね……

414 くすくす、キスするたびにピクンって震えて……

415 んーっ、やって舐めると……(小声)ああ、甘い……(小声)「うまで」

416 もっ、って強請るみたいに足、震えてる……

417 それに……「君のおまんこ」……スニッ(少し嗅ぐ)

418 すじい……ふふっ、君のエッチな匂いが……スニッ……濃くて……

419 調べなくても、感じてるのが分かる……っはぁ……興奮、するな……」

420

421 ヒロイン「嗅いじゃ、やだ……」

422

423 疋充「嗅いじゃやだ? どうして? ふふっ、こんなに……スニッ、甘くて興奮する匂い……」

424 (軽くキス)我慢できる訳ない……それから「君の中心……」一番香りの強いところ……

425 ね、君のおまんこ、もっと気持ちよくさせてあげたいから……

426 一番気持ち良いところかどうか、しっかり操作しないと……

427 っす、っす、っす、取っちゃってよっ」

428

429 ヒロインの下着を取る

430

431 DHM:① ト

432 榎充「紐、少し引つ張っただけで、しゅる、って解けちゃった。

433 ーこれは……犯罪だね……ホント危なっかしいったら……」

434

435 トロイン「榎充君に、見て欲しくて」

436

437 榎充「俺、に……見て欲しくて……ッ……ああ、もう。

438 そんな」と言われたら、全力で気持ち良くなせてあげたくなっちゃうだろ……

439 いや、もちろん今までだって全力なんだけどさあ……」

440

441 DHM:①

442 榎充「本当に君はどこまで俺を翻弄する気なの……

443 君をめちゃくちゃに気持ちよくなって喜ばせるつもりが……

444 俺の方がうれしくなっちゃってるでしょ、」ね……

445 (キス5秒)君がそうやって頑張ってくれたの、ほんと、すごく嬉しいから……

446 いいよ、俺ももっと頑張っちゃっ」

447

448 榎充「(ティープキス5秒)っはあ、いつも君からは……とっても甘い匂いがするんだよね……」

449

450 DHM:③ 耳元

451 榎充「くすくす、ほら、気付いてた？ (耳舐め5秒)君の耳をこすりつけていじめながら……

452 スウウー(めいっぱい嗅ぐ)気付かれないように、匂い嗅ぐのが好きなんだ。」

453 榎充「(耳舐めしながら)ん、それに……」

454 君が俺の手で感じてくれて、声が甘くなるよ……匂いも、うんと甘く濃くなるんだ」

455

456 ヌロイン「そう、なの……っ」

457

458 DHM:③から①へ

459 榎充「うん、気持ちいいんだっていうのが分かるし、それに……(キス5秒)君の身体は……」

460

461 DHM:① からだんだんと下へ

462 榎充「(身体にキスしたり、身体中を舐めながら下へ移動)」

463 どうも舐めても、甘くて……俺はそれを味わうたびに……

464 たまになく……興奮する……」

465

466 ヌロイン「興奮？ 本当に……っ」

467

468 DHM:① へ

469 榎充「(時々身体にキスしながら)うん、本当。いつも……君に隠すのが大変なくらい……」

470 興奮してる……もちろん、今も。

471 ……君のおまんこ、ほら、ここから……クニクニするほど甘く匂いがこぼれて……」

472 (大きく匂いを嗅ぐ呼吸 1回)

473

474 ヌロイン「嬉しそう」

475 DHM:① ト
476 柗充「嬉しい? 今の話、聞いて……それでも嬉しいって言うてくれるの……?」
477 ……………「めん、限界」
478
479 柗充「(ゆっくりと指を挿入しながら+吐息)」
480 指っ、入れただけでっ、すっっ……おまんこ……柔らかくてグズグズになつて、
481 たまらなく甘い匂いを放ってる……ほう、奥に……俺の指、どどど埋まつてくよ……
482 つはぁ……熱いっ……トロトロで、俺の指を締め付けてくる……
483 指、動かすよ。」
484 (手マン吐息 10秒)
485
486 柗充「(手マンしながら)聞いえる。すっくエッチな音……」
487 それにどどど溢れてきつ、じぼれそう……
488 ん、舐めたげる……(クニ10秒)ん、つはぁ……追いつかないくらい……くちゅくちゅ……
489 それに「JJ」中の「JJ」が「JJ」になるJJ……指で擦ったらきゅって締まつ、
490 もって匂いが溢れてきつ……(クニ15秒)気持ち良いの、分かるよ……
491 ……ん、ちゃんとクリトリスも「JJ」やって……ほう、ちゃんと剥いて……
492 舐めてあげるよ……
493 (クリトリスをクニしながら+吐息)あぁ、やっぱりクリトリスが一番……
494 反応、いいね……くすくす、腰、ゆらゆらっ……エッチ……
495 ん、どっちもシテあげるから
496 イッて、くちゅ……(コロイン絶頂へクニ10秒)」

497 ヒロイン「あ、あああ……！」
498 ヒロイン絶頂
499 DHM:①
500 榎充「はあ、はあ……上手にイケたね……可愛い……(キス5秒)可愛いよ……」
501 (キス 10秒)
502

503 ■収録用区切り⑥

504 ※挿入(正常位)

505 DHM:①

506 榎充「よしよし…可愛い……………ねえ、」のまあいっせつ、

507 イッっちゃってほわほわした君を、なでなでし続けても良いかもね……」

508

509 トロイン「え…………シ」

510

511 DHM:① 寄り

512 榎充「くすくす、もちろん、ウ・ソ、だよ。こんな生殺し状態でなんて……俺が、無理……

513 イッたばかりの君から、(キス)こーんなに甘い匂いして……

514 ただでさえ、ずっと我慢してて、もうキツイ…………ッ、はあ……………ね、入れて、いい……………よね？」

515

516 DHM:①

517 榎充「(挿入しながら台詞+吐息)

518 つはあ、はあ……………ね、分かる、君のおまんこ、俺のちんこが押し広げて入っていつてるの…

519 ん、そう、もう、少しで全部入る、よ……………ん、はあっ……………ねえ、痛く、ない？」

520

521 トロイン「うん、気持ち、いい…………」

522

523 DHM:① 寄り

524 榎充「はいつた……………やばっ……………きもちいい……」

525 柗充「あのね……今日の本当に嬉しいんだけど……」
526 君が素直すぎて……俺の我慢、マジで焼き切れそうなのね……
527 だから……これも、先に謝っとく。手加減、できない……かもッ」
528 (一気に奥に押し込む)
529
530 DHE:①
531 柗充「いっ、はあ、ああッ、ん……やば、中、めっちゃ、うねって……」
532 ん、いいよ、俺にしがみつくて。動くよ……」
533
534 柗充「(ゆっぴらとピストンしながら台詞+吐息)
535 まず、ゆっぴら動つた……
536 俺の形、覚えさせるみたいに、なじませてく、から……はあ……ああッ
537 んっ、違うよ、ため息じゃ、なへッ……
538 気持ち良すぎて、今すぐにもめっちゃくちゃにしたいのを、抑えてるだけだから」
539
540 ヌロイン「……ういよ……」
541
542 柗充「…俺の好きに動いていいのっ……」
543
544 柗充「(キスを数回しながら台詞)
545 そんなこと、もう、これから先、一生……俺意外に……言わないで、ね……ッ」
546 (激っぴピストン 10秒)

547 榎充「(激しく突き上げながら台詞＋吐息)
548 ああ、もう！可愛いくて、エロくて……ずっと、こっぴどく繋がって、たい……
549 なんて、こんなに可愛いのか？俺の彼女……ああ、俺の、彼女で、いてくれる……
550 それだけで、嬉しい……ずっと、ずっと好き、だったんだから……！
551 普段、淋しい思いさせてるの、知ってて、何もできなくて、ごめん、な……でも……
552 大好き、だから、それだけは、絶対、だから……！」
553
554 トロイン「私も、大好きッ」
555
556 DHM:① 寄り
557 榎充「(中程度のピストンしながら台詞＋吐息)
558 …ぎゅってしてあげる……あああ、もう、ホント、たまんなく、幸せ……
559 (ディープキス5秒)
560 (笑い声)っふ、くすくす、だーめ、離さないから。この体勢、すっく、奥、届くって、
561 気付いた？ぎゅってしたまま、突く、と……んっ！」
562 (激しくピストン 10秒)
563
564 DHM:① 寄り
565 榎充「(激しく突き上げながら台詞＋吐息)
566 ああ、ちつきよりも、君のナカがキツく、なって……
567 イキそ、なの、分かる、よっ……」
568

569 榎充「そう、もつと俺に、ぎゅってしてて、いい、から、ん、気持ちいいのに、任せてみて？」
570 ん、いいよ……イキそ、でしょ？（キス数回）この、まま……爪、立てていいから……
571 俺、に……ぎゅってしたまま……イッて……！俺、も……イキ、そ……ッ！
572 この、まま……君のナカ、に……出した、い……っはぁ、ね、一緒に……！
573 （ピストン強10秒）
574 ……ぁ、ぁぁッ、ん、ぁ、っく、ん、イク、イ、く……ぁぁぁッ……！（絶頂）
575 っはぁ、はぁ、ん、はぁ、っく、はぁ……んッ、はぁ、はぁ………」
576 （余韻吐息 15秒）

577
578

579 ■トラック4

580 ●収録用区切り⑦

581 ※ 再び挿入(バック)

582 DHM:①(⑦に向かつて)

583 榎充「(耳元)っはあ、はあ……ね、こっち、向いて……」

584 (ディープキス 10秒)

585

586 ムロイン「ん……」

587

588 DHM:①

589 榎充「(ディープキスしながら)っはあ、はあ……すっげ、可愛い顔……んッ……それに……」

590

591 DHM:⑦ 寄り

592 榎充「(嗅ぐ)っすん、すん……っはあ(ため息) っの、イッたあとの君、

593 めっちゃくちゃ甘い匂い……」

594

595 ムロイン「や、恥ずかしいよ……ー」

596

597 DHM:⑤

598 榎充「あ、もう、なんだよっか向っちゃっのっ、でも、うなじも……汗で湿っ……」

599 ちい、ヒロコ……っはあ……あ……ー」

600 (しなっし回数 キス)

601 ヒロイン「あ、また……大きく……」
602 DHM:⑤ 寄り
603 榎充「ん……分かる？ 君がの匂いで、俺のチンコ、また、たっちゃった……
604 ぐすぐす、そ、君のせい、だから……ね、もつかい、シよっ
605 (ゆすゆすと腰を押し付けながら)
606 ねえ、だめ？ ……あ、ちつき……好きにしていって……言っただ、よね？
607 うんうん。ああ、そっだ。ねえ、そのまま、後ろ向いたままで良いから、膝、立ててみてよ」
608
609 ヒロイン「あ、これ、恥ずかしい……」
610 DHM:⑤
611 榎充「大丈夫、全然、恥ずかしくないし、むしろ……めっちゃエロくて可愛い……！」
612
613 ヒロイン「ひぁッ」
614 DHM:⑤
615 榎充「(ゆるゆると素股しながら)ん、ビックリした？ ぐすぐす、足、もうちょっと閉じて……
616 俺のチンコ、挟んで……っはあ、はあ……ん、そう、そう……あ、コ……
617 クリトリス、ちんこに擦れてるの、分かる？ ……ぐすっ……腰、エッチに動いてる……
618 ん、可愛いから、何の問題も、ないよ、むしろ……感じてくれて嬉しい、から……
619 ……その、まま……あー、これ……っはあ、やば……、ちつき出した、俺の、垂れて……
620 ほら、エロい音……ぐちゅ、ぐちゅ、っ……響く……ぐちゅぐちゅ……」
621 (じゅわーける吐息 10秒)
622

623 ヒロイン「やあ、んッ」

624 DHM:⑤ 寄り

625 証充「ゆるゆる素股継続しながら+胸を責める」

626 ほう、「この姿勢だと、乳首、両方とも摘まんで、胸、揉みながら…できる…

627 ああ、たまらない……柔らかくて、でも乳首、「リ」「リ」してて、めっちゃ、エロ……

628 やっきたばっかりだから……おまんこも、熱くて、ぬるぬるして…

629 …っはあ、はあ………すっげ……濃くて、エッチな匂い……して、きた……

630 君も、感じて、て……っやば……これ……ッー」

631 （急に激しくすりつける 10秒）

632

633 証充「はあ、はあ………！ ね、このまま、もっかい………入れて、いい？

634 ね、イイ、よね？ 俺、も………！ 我慢、できな……ッ」

635 （奥まで一気に挿入）

636

637 ヒロイン「あああッ」

638 DHM:⑤

639 証充「っく………！ っはあ、はあ………！ ナカ、まだ俺のカタチのまま、だったから？

640 「うめ、一気に………入いっちゃった………奥、まで………っはあ、はあ………！」

641

642 ヒロイン「ん、奥う………」

643 証充「は、やっば………君の奥、も………喜んでるみたいに、ぎゅーってして………

644 「」の匂っ………すっげ、俺を、欲しがって………」

645 DHM:③ 後ろから耳元で
646 榎充「(少し意地悪に)あぁ、そっだ……………ねっ。言っっっ。ぐっっっ欲しいか……
647 言えたら、いっぱい、シてあげる……………言えるまじっ」のま……」
648
649 トロイン「やだ、恥ずかし……」
650
651 榎充「恥ずかしくない……………ねえ、言っっっ。どっっっ、欲しいっ？」
652
653 トロイン「奥、いっぱい、突っっ……………」
654 DHM:③
655 榎充「(首元にキス)よく言えました。奥、いっぱい突いて欲しい、ね。
656 ……ん、ちゅっ、いっぱい気持ちよくっっっあげるからね……」
657
658

659 ●収録区切り⑧

660 DMM:⑤

661 榎充「このまま、後ろから……！奥、いっぱい、突いてあげ、る……ッ！」

662 (激っぺüstön 10秒)

663

664 榎充「(激っぺüstönしながら台詞＋吐息)

665 嬉しい、なあ……今日、君が、色々頑張ってくれたの、全部……！

666 君を欲しがってるの……エッチなことしたいと思ってるの、

667 俺ばっかりだと、思ってた、から……

668 可愛い服も、エッチな下着、も一致なこととして欲しいって、素直に言ってくれたことも、

669 全部……嬉しい……だから、俺も……

670 君になら、全部出して良い、って思ったんだ……！」

671 (激っぺüstön 10秒)

672

673 トロイン「私も、嬉しい、よ……！」

674

675 榎充「(中程度のüstönしながら台詞＋吐息)

676 「私も嬉しい！」って言うてくれる君だから、俺は、好きになったんだ……

677 ああ、好き、ホントに好き……ねえ、「こっち向いて？キス、したい……」

678 (ディープキス 10秒)

679

680

681 D H M : ⑤ 寄り (バックでピストンしながら)

682 榎 充「ん、好き、だよ……大好き……! ずっと、こうやって、一緒に……ね?

683 うん、くすくす、絶対、だよ……!

684 (中程度のピストン10秒)」

685

686 D H M : ⑤

687 榎 充「(ピストンしながら)っはあ、はあ……ああ、クリトリスも……」

688

689 トロイ ン「ああッー」

690

691 榎 充「うあッ、っはあ……締め付けすいーちん」持ってかれるかと、思った……

692 ん、俺のチン」で、奥、突き上げ、ながら……クリトリス、ちよつと弄っただけなのに、

693 「こんな締め付けて……ほ、ら……きゅって摘まんだら……どう、なるか……ッ!

694 っく、あ、ああッ、すい、君を気持ちよくくわせたくて、弄ってる、のに……

695 ナカ、が……ぎゅっぎゅっ、うねる、から……俺、のほう……やばッ……!」

696 (激っぴピストン、10秒)

697

698 榎 充「(激しいピストンしながら台詞+吐息)

699 いい、よ……」のまま、めちゃくちゃに、弄りながら、奥、いっぱい突いて、あげる……!

700 君の匂いも、濃く、なって……イキ、そ、なの……分かる……んッ、俺、も……

701 もう、イキそう……君の、ナカ、うねって、持って、かれそ……ッー!」

702 (ピストン強10秒)

- 703 柎充「……あ、あぁっ、ん……っく、はぁ、はぁ……もっかい、君の、ナカに……」
- 704 出す、よ……「一緒に、バイ」……ねっ。っはぁ、っく、あ、あ、あぁッ、バイ、く……」
- 705 (激っぺ、ストーン、10秒)
- 706
- 707 柎充「イク、あ、んッ、っはぁ、んッ……! (絶頂) っはぁ、はぁ……はぁ…… (余韻吐息 10秒)」
- 708
- 709 D H M : ⑤ ↓ ①
- 710 柎充「はぁ、はぁ……はぁ…… (息を整えている5秒)」
- 711 ーっち、むいて…
- 712 (キス5秒) 今日、ホントに、良かったって、思ってるんだ……
- 713 俺の、こと、もっと知ってもらえたから……それに、君のこと、知れたし、ね？」
- 714
- 715 ヒロイン「うん、私も」
- 716
- 717 柎充「よかった、一緒に気持ちでいてくれて、嬉しい……っう、やって……」
- 718
- 719 D H M : ① 寄り
- 720 柎充「(軽く嗅ぐ) 君の匂い大好きなこと、とか……言えてよかった。だって……」
- 721
- 722 柎充「(ディープキス5秒+しながら股間を押し付ける)」
- 723 ほら、君がイッた匂いで興奮するんだもん……俺の……「レ……」
- 724

725 榎充「ん、そうそう、気付いた？ 俺、まだまだ……収まりそうにないんだ……」

726 でも、一緒の気持ちでいてくれるんだよね？.

727 そしたら……次は……どんな風に……えっちしちやおつか？」

728 (軽くキス)

729

730

End

731